

2年度予算を見る

～輝くふるさと常任委員会～

3月12日に、2年度当初予算の審査を行いました。主な質疑の内容をお知らせします。

デントコーン 収穫効率化

農林 環境

問 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費の内容は。

答 酪農家のデントコーン収穫作業などの効率化を図るため、自走式ハーベスターを導入する経費に30割助成するもの。

マイナンバー

住民 会計

問 マイナンバーカードの交付率は。

答 約19割で、県内市町村で最も高い交付率となっている。今後も普及啓発を図っていく。

住宅改修

建設 水道

問 鳩岡住宅の改修内容は。

答 住宅32戸のうち、28戸の浴槽を整備する。残りの4戸は、元年度に整備を実施している。

公共交通

総務 企画

問 地域公共交通再編支援業務の内容は。

答 元年度に公共交通について、乗降調査や抽出アンケートなどを行った。その結果を踏まえ、2年度はコミュニティバスの計画策定と実証調査を行う。

予算編成

総務 企画

問 2年度予算の特徴と重視した点は。

答 特徴は、新庁舎建設など建設事業費が高い割合となっていること。重視した点は、将来のまちづくりに向けたハード、ソフト両面の先行投資と、それに対する将来負担のバランスを考慮し事業を精査したこと。

DMO事業

総務 企画

問 ぐずまき型DMO事業の進捗状況は。

答 6つの検討部会を設置し、エリアビジョンを作るなどの取り組みの中から、空き店舗を活用した起業があった。各部会での活動を通じて、さまざまな世代や団

ンターの機能を持つ施設を三年度着工する見込み。

排水処理

建設 水道

問 農業集落排水事業の最適整備構想策定業務とは。

答 元年度に四日市と田子にある排水施設の点検を行ったところ、5段階評価で中間の判定だった。部分的な修繕が必要となるもので、処理場のポンプなど今後の修繕整備を計画する。

歩道整備

建設 水道

問 茶屋場田子線の歩道整備予定は。

答 役場線との合流地点から、葛巻中学校方面の国道までの1210メートルを歩道整備区間とする。歩道の幅は2メートルを想定し、馬淵川側の片側歩道として。

鳥獣駆除

農林 環境

問 有害鳥獣に関する捕獲実績は。

答 県の許可が必要なツキノワグマは、元年度9頭で、許可が不要のニホンジカは50頭の実績。狩猟者にはツキノワグマ1頭に1万5千円、ニホンジカ1頭に8千円の奨励金を出している。

法人数

住民 会計

問 法人税の推移は。

答 資本金1000万円以下で、従業員数50人未満である1号法人の数は減少傾向にある。減少の主な要因は、後継者不足などによる解散や清算と考えられる。減少に歯止めをかけるため、継業支援事業やぐずまき型持続可能な産業づくり支援事



歩道整備予定の町道茶屋場田子線



空き店舗を活用したカフェのオープニングセレモニー

地域留学

教育 委員会

トンネル 修繕工事

建設 水道

問 トンネル長寿命化修繕工事の内容は。

答 元年度に点検を行ったところ、漏水箇所が多かったため修繕を行う。

体の方々が、地域の課題に向き合うことが成果と捉えている。

問 負担金を予算計上している「地域みらい留学推進協議会」とは。

答 全国の地域留学の制度を導入している高校が加盟している団体。高校間の情報交換や高校の情報発信をする。

賛成討論

将来の移住者、定住者確保を期待

辰柳 敬一 議員



2年度当初予算について、賛成の立場で意見を述べます。

2年度は町総合計画・中期計画の初年度にあたり基本目標である、いきいきと輝き続ける「ひと」と、誰もが住みたくなる「まち」、地域資源を活かす「しごと」の実現に向けた重点プロジェクトとして、ひとつづくり、まちづくり、しごとづくりの取り組みに、つながりづくりの視点を加え、将来の移住者確保やUターン促進に向け、一

層の取り組みを強化することとしました。行政組織の機構改革により、まなび交流課が新設され文化支援事業の創設で町民の自発的な学びをサポートする体制が強化されました。

地域公共交通再編支援業務や県北バス葛巻線運行業務などにより、町民の生活に密着した公共交通網の維持確保の対策がとられました。

国土強靱化計画策定に取り組むことにより、町民が安心・安全に生活できるまちづくりが推進されると考えます。

トヨタグループとの連携を活用した情報発信や暮らし体験ツアー、インターシップ受入事業などにより、多くの関係人口の創出に取り組み、移住者・定住者の確保を期待します。

■反対討論なし